

弱者に聞く

災害や紛争発生時、世界30カ国にある支部のネットワークを生かし、多国籍医師団を結成して緊急人道支援活動を展開する、国連経済社会理事会「総合協議資格」NGO「AMDA」(本部＝岡山市)の菅波茂代表から話を聞いた。

◇ AMDAの活動は国際社会から高い評価を受けている。
菅波茂代表 私たちの根底にある考え方は「相互扶助」です。「困った

国際人道支援

公明は“世界の弱者”の味方に

代表 菅波茂氏
副代表 菅波茂氏
事務局長 菅波茂氏
常務理事 菅波茂氏
非営利法人 AMDA



や災害で困っている人に対し、医療分野を中心に国際人道支援活動を実施しています。
「目的は世界の平和に
う精神に基づいて、紛争
ときはお互いさま」とい
う精神に基づいて、紛争
寄与すること。平和と
は、「家族の今
日の生活と、家
族の明日の希望

を実現できる状況」と考
えます。「今日の生活」
とは食と健康であり、「明
日の希望」とは子どもに
教育を与えることです。
安全保障には、外交・
軍事と経済の両面があり
ますが、私はこれに「人
道援助」を加えるべきだ
に、約1130件の巡回
診療を行いました
が、地震による
粉塵の影響によ
る患者が多く、現地では
医薬品が不足していま
す。
——日本の果たすべき
役割は。
菅波 紛争や災害の被
害者は、「究極の弱者」
です。見放されることは、
弱者にとって絶望という
ことです。

と想っています。「人道
援助安全保障」は、民族
や文化、宗教の違いを超
えた「多様性の共存」で
あり、お互いの尊敬と信
頼によって、摩擦や誤解
を解いていくことができ
ると信じています。
——今年9月30日、イ

ンドネシアのスマトラ島
沖地震が発生した。
菅波 AMDA本部か
らは、10月1日から15日
まで、医師や作業療法士
など計7人の医療チーム
を派遣しました。
パリアマン地区を中心
に、約1130件の巡回
診療を行いました
が、地震による
粉塵の影響によ
る患者が多く、現地では
医薬品が不足していま
す。
——日本の果たすべき
役割は。
菅波 紛争や災害の被
害者は、「究極の弱者」
です。見放されることは、
弱者にとって絶望という
ことです。
今回のスマトラ島沖地
震では、公明党の谷合正
明参院議員がいち早く現
地入りしましたが、本当
に素晴らしい。国益を考
えれば、世界の紛争や災
害現場に日本の国会議員
が駆け付け、「日本から
来た」というメッセージ
を発信することは非常に
大事です。
公明党には、日本だけ
でなく、世界の弱者の味
方として、先頭に立って
もらいたい。